【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】令和2年10月15日(2020.10.15)

【公表番号】特表2019-534247(P2019-534247A)
【公表日】令和1年11月28日(2019.11.28)
【年通号数】公開・登録公報2019-048
【出願番号】特願2019-512681(P2019-512681)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　38/16　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　14/47　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　 1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　43/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 1/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　15/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　27/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 7/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　 9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/12　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　38/16　ＺＮＡ
Ｃ０７Ｋ　14/47
Ｃ１２Ｑ　 1/02
Ａ６１Ｐ　35/00
Ａ６１Ｐ　29/00
Ａ６１Ｐ　43/00　１１１
Ａ６１Ｐ　37/06
Ａ６１Ｐ　37/04
Ａ６１Ｐ　37/02
Ａ６１Ｐ　11/08
Ａ６１Ｐ　11/00
Ａ６１Ｐ　 1/04
Ａ６１Ｐ　 1/02
Ａ６１Ｐ　15/00
Ａ６１Ｐ　27/02
Ａ６１Ｐ　 7/02
Ａ６１Ｐ　 9/00
Ａ６１Ｐ　11/02
Ａ６１Ｐ　29/00　１０１

Ａ６１Ｐ　25/00
Ａ６１Ｐ　31/04
Ａ６１Ｐ　31/12

【手続補正書】
【提出日】令和2年9月7日(2020.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
がんの転移を阻害するか又はがんの転移リスクを低減するための、ＮＥＴ阻害ペプチド（ＮＩＰ）を含む医薬組成物。
【請求項２】
前記ＮＩＰが、新生児ＮＥＴ阻害因子（ｎＮＩＦ）、ｎＮＩＦの医薬的に許容される塩、ｎＮＩＦ類縁体、ｎＮＩＦ類縁体の医薬的に許容される塩、ｎＮＩＦ関連ペプチド（ＮＰＲ）、ＮＲＰの医薬的に許容される塩、ＮＲＰ類似体、またはＮＲＰ類似体の医薬的に許容される塩のうちの１つである、請求項１に記載の医薬組成物。
【請求項３】
前記ＮＩＰがＮＲＰである、請求項２に記載の医薬組成物。
【請求項４】
前記ＮＲＰが、ＣＲＩＳＰＰ（がん関連ＳＣＭ認識・免疫防御抑制及びセリンプロテアーゼ保護ペプチド）、Ａ１ＡＴの４４アミノ酸カルボキシ末端開裂断片（Ａ１ＡＴｍ^{358}）、または高温の必要条件Ａ１（ＨＴＲＡ１）開裂断片のＡ１ＡＴ（ＨＴＲＡ１－ＣＦ）のうちの少なくとも１つである、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項５】
前記ＮＲＰがＣＲＩＳＰＰまたはその塩であり、且つＣＲＩＳＰＰまたはその塩のアミノ酸配列が配列番号：２のアミノ酸配列に対して少なくとも８０％同一である、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項６】
前記ＮＲＰがＡ１ＡＴｍ^{358}またはその塩であり、前記Ａ１ＡＴｍ^{358}またはその塩のアミノ酸配列が、配列番号：３のアミノ酸配列に対して少なくとも８０％同一である、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項７】
前記ＮＲＰが、ＨＴＲＡ１－ＣＦまたはその塩であり、前記ＨＴＲＡ１－ＣＦのアミノ酸配列またはその塩が、配列番号：４のアミノ酸配列に対して少なくとも８０％同一である、請求項３に記載の医薬組成物。
【請求項８】
前記ＣＲＩＳＰＰ、Ａ１ＡＴ^{358}、またはＨＴＲＡ１－ＣＦのうちの少なくとも１つのアミノ酸が化学修飾剤に結合しており、前記化学修飾剤が脂質、ポリエチレングリコール（ＰＥＧ）または糖類のうちの少なくとも１つから選択される、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項９】
前記ＣＲＩＳＰＰ、Ａ１ＡＴ^{358}、またはＨＴＲＡ１－ＣＦが天然起源のものでない、請求項４に記載の医薬組成物。
【請求項１０】
前記ＣＲＩＳＰＰ、Ａ１ＡＴ^{358}、またはＨＴＲＡ１－ＣＦが、好中球細胞外トラップ（ＮＥＴ）形成を実質的に阻害するのに有効な量で存在する、請求項４に記載の医薬組成

物。
【請求項１１】
前記がんが、黒色腫、卵巣癌、胃癌、または肺癌のうちの少なくとも１つである、請求項１～１０のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１２】
前記医薬組成物が好中球細胞外トラップ（ＮＥＴ）の形成を実質的に阻害する、請求項１～１１のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１３】
ヒト用の医薬組成物である、請求項１～１２のいずれか１項に記載の医薬組成物。
【請求項１４】
がんの転移を阻害するか又はがんの転移リスクを低減するための医薬を製造するための、ＮＥＴ阻害ペプチド（ＮＩＰ）の使用。